

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 1 日

Table with columns for 事務事業名, 儲かる産地支援事業, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details like 0401 農林業の振興, 04 活力ある産業のまちづくり, 01 農林業の振興, 01 ①担い手の育成・支援.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 main columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes text about production improvement and ICT adoption.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図 and various indicators (活動指標, 対象指標, 成果指標) with data for 29, 30, 01, 02, 03 years.

Table (3) 投入量 (事業費) の推移. Shows financial breakdown by source (国庫, 県, 地方債, etc.) and personnel (正規職員) for 29, 30, 01 years.

Table showing 30年度事業費実績 (千円) and 01年度事業費 予算 (千円) with a total of 3,820 for 30 and 3,000 for 01.

Table (4) 当該年度の実施内容. Includes 01, 02, 03年度の事業内容 and a list of main activities like 市長マニフェスト, 未来PJ事業, etc.

事務事業名	儲かる産地支援事業	事務事業No.	40101000815	所属課	農林課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? ・地域住民や農業者からの創意工夫にもとづく提案を受け入れるとともに、消費者ニーズにあった産地づくりの促進に必要な事業を実施することにより、認定農業者などの意欲ある担い手への支援の集中を図り、なおかつ総合的な支援体制を構築することを目的として、平成16年度から開始された。しかし、当事業における県予算の規模は、年を経るごとに縮小している状況にある。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? ・行政による農業用機械・施設の整備に対する助成が少なくなっているため、当事業に採択となるよう支援して欲しいとの意見が寄せられている。 ・補助の対象となる機械整備や施設の範囲を広げて欲しいとの要望もある。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容
現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 営農組織へ高性能機械の導入を支援することにより、高品質米生産・経営規模の拡大等に貢献する。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 当事業は、営農組織単独での実施はできず、市が要望を取りまとめる必要がある。政策体系との整合性も保たれている。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 当事業における県予算の規模は、年を経るごとに縮小している状況にある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 高品質米生産、環境に配慮した農業経営、新規需要米の作付拡大に従事する担い手の育成が鈍化する。加えて、地域農業の維持・振興が困難になり、農業従事者の減少を招くことが懸念される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 必要最低限である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 最終的に、県が事業実施主体を決定している。また、要望調査の際、市内の認定農業者・農業生産法人・地域の中心となる経営体等を対象に実施しているため、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 高性能な農業用機械の導入を支援することにより、米の反収向上や品質向上並びにコスト低減等に貢献している。平成29年度は1組合が採択のみであったが、年度によりバラつきがあるため、同水準の採択数を確保できるように、事業要望者を支援していく必要がある。																	
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下		○	
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上																	
	維持 低下		○															
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																		
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ② コスト削減優先度評価結果																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認
---	---